

東照大権現尊像
十六将之模倣



庄内藩 酒井家 シンポジウム 2023.7.11(火)

酒井家庄内入部400年

時間：18:45～21:10 (開場 18:00)

会場：日経ホール (東京都千代田区大手町1-3-7)

入場料：1,000円 (定員 600名) ※事前申込が必要です

進呈 致道博物館特別展(4/29～6/12)
「徳川家康と酒井忠次」図録

《基調講演》

「徳川家康と酒井忠次」(仮)

徳川宗家19代当主 徳川家広氏

《パネルディスカッション》

「徳川家と酒井家」(仮)

パネリスト 徳川家広氏
酒井忠順氏 (旧庄内藩主酒井家世嗣)
加来耕三氏 (歴史家、作家)
谷口雅一氏 (NHK歴史番組プロデューサー)

コーディネーター 小林好雄氏 (出羽庄内地域文化情報誌Cradle 編集長)

主催：鶴岡市城下町観光誘客促進実行委員会
事務局：鶴岡市商工観光部観光物産課

【申し込み方法】 QRコードからお申込みください

(その他の方法、ウラ面記載)

申込受付：5/8(月)～6/30(金)

定員になり次第締め切り

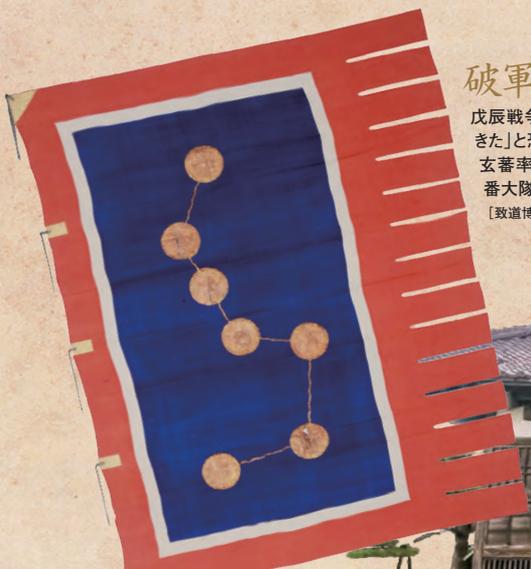


徳川十六将図

左上：酒井忠次
[致道博物館蔵]

破軍星旗

戊辰戦争で「鬼玄蕃がきた」と恐れられた酒井玄蕃率いる庄内藩二番大隊が掲げた軍旗。
[致道博物館寄託]



【お申込み・お問い合わせ先】
業務受託者：株式会社出羽庄内地域デザイン
tel. 0800-800-0806 (フリーアクセス)
fax. 0235-64-0918
https://cradle-plus.com/



藩校致道館講堂

徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする酒井家3代忠勝が元和8(1622)年庄内に入部以来、昨年で400年を迎えました。忠次は徳川家康の義理の叔父でもあり、今年のNHK大河ドラマ「どうする家康」では徳川家臣団をリードする役として脚光を浴びています。庄内藩酒井家は江戸後期、藩校致道館の創設など藩政改革を進め、また幕末には江戸市中取締りを担い、戊辰戦争では連戦連勝と強さを誇りました。最後に降伏するも、西郷隆盛の寛大な措置により、その後松ヶ岡開墾、絹織物製造、庄内米ブランド化など酒井家は地元に残り産業振興を進めます。庄内は今も殿が暮らすまちです。徳川家、酒井家、歴史家、プロデューサーなど関係者が集い、徳川家と酒井家の篤い信頼などを語ります。

Profile



徳川 家広

1965年、東京都生まれ。慶応大卒業後、米シガン大学で経済学修士号を取得、国連食糧農業機関FAO勤務の後、米コロンビア大学で政治学修士号を取得。2000年末帰国後フリーの翻訳家、政治経済評論家として活動。著書、訳書多数。2021年6月より公益財団法人徳川記念財団理事長。2023年1月徳川宗家当主就任。



酒井 忠順

1974年、鶴岡市生まれ。獨協大学大学院経済学研究科修士課程修了。旧庄内藩主酒井家19代世嗣。現在、公益財団法人致道博物館理事副館長、一般社団法人庄内酒井歴史文化振興会代表理事、株式会社庄内藩代表取締役。



加来 耕三

1958年、大阪市生まれ。歴史家・作家。奈良大学文学部史学科卒業。奈良大学文学部研究員を経て、現在は大学・企業の講師をつとめながら、歴史家・作家として著作活動をおこなう。テレビ・ラジオ等の番組監修、出演などの依頼も多く、「英雄たちの選択」(NHKBSプレミアム)などに出演。新刊に『徳川家康の勉強法』(プレジデント社・2023)など。



谷口 雅一

1969年、大阪府生まれ。NHKチーフ・プロデューサー。NHK入局以来、歴史番組や教養番組の制作・開発に携わる。現在、BSプレミアム番組「英雄たちの選択」「新・街道をゆく」、総合テレビ番組「歴史探偵」などを担当。

Program

18:00	開場
18:45	開会
18:50	基調講演
19:40	休憩
19:55	パネルディスカッション
21:10	終了

庄内藩酒井家シンポジウムのお申込み



QRコードからお申込みください。

申込受付：5/8(月)～6/30(金) ※定員になり次第締め切り

QRコードからの申込みがむずかしい場合は、FAXをご利用ください。

下記必要事項をご記入の上、FAX送信してください。

FAX. 0235-64-0918

ふりがな
お名前

住所(市区町村名)
※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属
※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号
(またはメールアドレス)

ふりがな
お名前

住所(市区町村名)
※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属
※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号
(またはメールアドレス)